

省エネルギーの推進に向けて始動！！

～ 建築局は、^{エスコ}ESCO事業導入計画に着手します～

横浜市では、大量に管理している既存公共建築物の省エネルギー化と環境負荷の低減、さらに財政負担の軽減を図ることができる民間の資金・ノウハウを活用したESCO事業(裏面参照)を効率的に進めるため、ESCO事業導入計画の策定に着手します。

また、既存公共建築物の省エネルギーとコスト削減を図るため、省エネニュースを定期的に発行し、施設管理者への提案、情報提供を積極的に行います。

ESCO事業導入計画策定に着手

公共建築物のESCO事業を効率的に推進するために、平成16年度は、既存施設の省エネルギー診断や事業実現性の検討など、「ESCO事業導入計画」を策定します。

策定期間：平成16年7月～12月

策定にあたってはランドブレイン(株)に委託し、省エネルギー診断やESCO事業導入可能性の調査をした上で、策定委員会の審議を経て、導入計画を策定します。また、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの補助金(地域省エネルギービジョン策定等事業)を受け、実施します。関係局(施設管理者等)と調整し、確定したもものから順次、計画的に事業を実施します。

昨年度、先行的なモデル事業として、済生会横浜市南部病院において、ESCO事業を実施したところ、6企業・グループ(合計15社)の多数の提案があり、今後のESCO事業への期待は極めて大きいものがあります。(裏面参照)

ESCO事業導入計画の策定概要

使用エネルギー調査、省エネルギー診断結果から、省エネルギーの量や手法だけでなく、経済性や実現性を判断した上で、ESCO事業の導入計画を策定。

対象施設の絞り込み

各施設の使用エネルギー調査・省エネルギー診断

ESCO事業の可能性調査

・事業収支の検討

・ESCO事業の適否

ESCO事業導入計画の策定

・対象施設ごとの実施計画

(実施時期、エネルギー削減率、改修工事内容等)

省エネニュースを発行

建築局保全推進課では、建物の省エネルギー推進のため、「省エネ推進グループ」を組織し、係を超えて、横断的に省エネルギーを推進することとしました。

省エネ推進グループでは、既存公共建築物の省エネルギーとコスト削減を図るため、省エネルギー改修・維持管理の適正化について推奨し、施設管理者のみならず、さまざまへ提案・情報提供などのお手伝いをします。

その活動の第1段として、庁内職員向け、施設管理者向けに省エネニュースを定期的に発行することにしました。

第1号は、省エネルギーへの「積極的なお手伝いの宣言」と今後実施するESCO事業の導入へ向けての案内、また裏面には、事例紹介として、現在実施している済生会南部病院でのESCO事業の進捗状況、実際の削減効果を紹介しています。

また、簡単に取り組める省エネルギー手法の紹介もしています。

今後は2～3ヶ月ごとに定期的に発行し、市職員への省エネルギーへの啓発と既存施設の省エネルギー化、維持管理費の低減に向けて積極的に働きかけていきます。

ESCO事業導入計画策定事業の進め方

既存公共建築物（約1,500施設）の中から約30施設を抽出して調査。

学識経験者や省エネルギーに関する団体等を含んだ策定委員会を設置。

- ・策定委員会委員構成：学識経験者、省エネルギーに関する専門的知識を有する者、地元産業界等
- ・エネルギー調査結果の解析、省エネルギー及びESCO事業の導入検討にあたって、専門的観点から、巾広く審議、検討するために設置。

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの補助金を積極的に活用。

- ・補助金：「地域省エネルギービジョン策定等事業」の補助

調査はランドブレイン（株）に委託

本社：東京都千代田区、 横浜事務所：横浜市都筑区荏田東2-19-4-805 横浜事務所 所長 高木恒夫
関係局（施設管理者等）と調整し、確定したのから順次、計画的に事業を実施。

南部病院 ESCO 事業の概要(進捗状況)

恩賜財団済生会横浜市南部病院

運営：済生会、施設：済生会と市の共有

恩賜財団済生会と横浜市が共同でESCO事業を実施しています。

- ・平成15年12月：事業者 公募
- ・平成16年3月：最優秀、優秀事業者選定
- ・平成16年8月：本契約
- ・平成16年度：改修設計・工事
- ・平成17年度～：ESCOサービス開始

モデル事業として公募した、**済生会横浜市南部病院 ESCO 事業**を3月17日に「ESCO提案審査委員会」において審査の結果、**最優秀提案及び優秀提案**を決定しました。

最優秀提案は、

・省エネルギー率	27.8%
・CO2排出削減率	41.4%
・光熱水費削減額	4,900万円/年
・ESCOサービス契約	12年間

となっています。南部病院の設備改修に際し、維持管理費の低減と省エネルギー化に大いに寄与することが期待されます。

ESCO事業とは、既存建築物の設備改修において、民間の資金とノウハウを活用しながら、設備更新に係る初期投資なく省エネルギー化と維持管理費の低減を図ることができる事業手法です。今までの環境を低下させることなく省エネルギーをおこない、その結果得られる光熱水の削減を保障し、ESCO事業者への支払いは光熱水削減額の一部から支払われます。

PFI的な手法による、いわば「PFIの省エネルギー改修版」ともいえるものです。
(ESCO:Energy Service Company の略)

ESCO事業は、今回提案された機器更新等の設計から施工、維持管理まで、全て提案事業者が行い、その費用は削減された光熱水費の一部から支払うこととなりますので、**厳しい財政状況の中でも、公共建築物において、必要な設備改修による市民サービスの向上、省エネルギー対策による地球温暖化への対応、維持管理費の低減による財政状況への対応**を実現できる有効な事業手法です。

ESCO事業の経費と利益配分

